

NPO & NGO 005 To Make You Glow

自分や家族の生活は自立しつつ、
広く豊かな人間関係の中で暮らす。

コレクティブハウジング社

コレクティブハウスの事業主と入居希望者のコーディネートを行うNPO。コレクティブハウスは、いくつかの共用スペースを持ち、生活の一部を共同化する住まい。個々の住戸にトイレやキッチンがあり、シェアハウスより個々の住宅の独立度が高いのが特徴だ。

東京都

tel.03-5281-2310 http://www.chc.or.jp/



上/共有のダイニングにて、コモンミールを食べる居住者の皆さんと坂口先生。中右/コモンミールは、担当制で共有のキッチンでつくられる。中左/ゲストルームにもなる畳の共有のロフト。下/屋上には共有の菜園がある。

坂口 緑
さかぐち・みどり●明治学院大学社会学部准教授。
NPO&NGOやボランティア学を得意とする社会学者。

暮らしの地続きに、ソーシャルがあるのです。

ベンチャーキャピタリストにしてカフェ店主という肩書を持つ影山さんが関わり始めたのは2005年。今後の方針について話し合う合宿で、知人に司会を頼まれたのがきっかけだった。組織の外部にいる人間として、第三者的な立場で議論を整理するよう頼まれたんです。その後、議論の行方を見守る中で自然と活動にも関わるようになったという。

NPOコレクティブハウジング社の仕事を一言で表すとコーディネーション。事業主と入居希望者の間に立ち、建物に対する意見をまとめたり、入居後は居住者同士の話し合いをサポートしたりしている。入居希望者に対する事前のワークショップでは、豊かな共有スペースを持った暮らしであること、生活のルール

を自分たちで決めて自分たちで運営する仕組みであること、「コモンミール」の用意や清掃など、生活上の役割を一部分担し合う住まいであることを伝える。ルールは自分たちで決めるけれど、不都合ならばいつでも変える。この原則を理解してもらったことが最初の大きな気づきだ。

「コレクティブハウス聖蹟」には、0歳から70歳までの34名が暮らしている。「シェアハウス」という住まい方も、近年よく知られてきているが、そこでの生活上のルールは、大家から与えられるものであることが多い。それにに対しコレクティブハウスでは、継続的な話し合いがハウスの運営にとって不可欠になる。このような住まい方を、いったい、どんな人がどんな理由で選んでいるのだろうか。「よく誤解されるんです」と影山さんは笑う。もともと社会的な人が集まっているのではないか、社会派の人が集まっているのではないかと

疑われるという。しかし入居を考えるときっかけは人それぞれだ。話し相手が欲しい、コモンミールは経済的コミュニケーションの中で子どもを育てたい。ただ最終的にここでの暮らしを選択される一番の理由は、そこにあるコレクティブな人間関係なのではないかと思えます。まわりを活かし、自分を活かし、ともに暮らしをつくり合う。わがままやヒエラルキーとは対極にある、互いの相違を受け止めた信じられる隣人関係。「コミュニケーションを積み重ねる中から、そうした話し合いの技術自体が育っていきます。暮らししているうちに、社会を学ぶ。家と社会がすぐ近くにあると実感できる。そのような暮らしがここにはあるんです」。時間をかければ物事は決まるし、間違ったことにはならない。そして人はだんだんソーシャルになっていく。影山さんの人に対する厚い信頼は揺るがない。

こんな暮らしの形もあります!

NPO & NGO 007 To Make You Glow

漫画家になりたい!
そのためにシェアします。

NEWVERY

漫画家を目指している人たちが必要な存在、それは描くための時間や、同じ夢を目指して切磋琢磨する仲間だ。そこでNPO「NEWVERY」によって2006年に立ち上げられたのが、トキワ荘プロジェクトだ。主に地方在住で本気でプロの漫画家を目指す若者に、都内で低家賃のシェアハウスを提供しており、現在は都内19か所に約100名が生活している。

最大のメリットは光熱費、インターネット代込みの標準家賃が4万8000円と安いこと、アルバイトの時間が減り、その分を創作活動に割けること。また、講習会や漫画関係の仕事の仲介、斡旋を受けられること、ライバルであり仲間でもある同居人とともに頑張れるのも大きな力になる。実際、プロデビューを果たしてトキワ荘を出た人もすでにいるそうだ。本気の人はぜひ入居を!

東京都

tel. 050-1071-8324 http://tokiwassou.dreamblog.jp/



トキワ荘の住民が活躍する、豊島区での似顔絵を描くイベントの様子。

NPO & NGO 006 To Make You Glow

楽しくボランティアしながら
好立地の物件に安く住もう。

みらいネット高島平

多様な人やものをつなげることで地域、大学をもっと元気にしたいと設立された「みらいネット高島平」。東京都・高島平にある大東文化大学の教職員、学生、地元住民と一緒に活動している。

活動の大きな力となっているのは、高島平団地の空き部屋を大東文化大学の学生に貸す取り組み「高島平団地学生入居プログラム」で入居している学生たちだ。彼らは大学から家賃の補助を受ける代わりに「みらいネット高島平」の活動への月7時間以上のボランティア、会議や行事への参加、自治会への加入が義務づけられている。この制度を理解したう

東京都

tel. 03-5399-7356 http://www.daito.ac.jp/takap/



ともなく2年を迎える「コレクティブハウス聖蹟」にて、コレクティブハウジング社代表理事の影山知明さん(左)と社会学者の坂口緑先生(右)。



電 車に揺られて新宿から25分。特急も停車する京王線の駅、聖蹟桜ヶ丘駅の住宅地に立つ集合住宅。これが噂の「コレクティブハウス聖蹟」である。コレクティブハウスとは、それぞれが独立した専用の住居を持ちながら、入居者全員で使う共同の空間を活用して合理的な暮らしを実現する賃貸住宅。明るいコモンスペースにはセンスのいい北欧風家具が並ぶ。ここで、NPO「コレクティブハウジング社」代表理事の影山知明さんにお話を伺った。

コレクティブハウス

1 にほんの社会貢献。最新キーワード。

ソーシャルな住まい。

社会貢献に詳しい坂口緑先生が注目する「コレクティブハウス」という暮らし方。社会貢献のヒントを求め、その現場を訪れました。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Midori Sakaguchi

building tomorrow together!
special issue